

## 平成28年度 第1回 調布市地域福祉推進会議 【議事要旨】

日時：平成28年6月23日（木）18：30～20：30

場所：調布市文化会館たづくり 西館2階 予防接種室

### 【出席者】

- 1 出席委員：17人
- 2 事務局・関係部署出席  
福祉健康部（福祉総務課，生活福祉課，高齢福祉担当，介護保険担当，障害福祉課，  
子ども発達センター，健康推進課）  
子ども生活部（子ども政策課）
- 3 傍聴者：なし

### 【資料】

- ・平成28年度福祉健康部経営方針及び子ども生活部経営方針
- ・地域福祉コーディネーター事業の推進 評価総括表
- ・地域福祉コーディネーター事業概要
- ・アンケート調査の概要と調査項目（案）（資料1～3）

### 【議事】

- 1 開会
- 2 議事  
(1) 平成28年度経営方針に基づく各課の主要な事務事業の概要について  
資料説明（各課）

**会 長**：確認したいことや質問等はあるか。

**委 員**：3点ほど確認したい。まず7ページの地域福祉計画のニーズ調査の説明の中で，3計画で横断的に行うということだったが，3計画を横断する組織作りのようなものを考えているのかどうか。2つめは，生活困窮者自立支援事業について，生活保護に至ることを阻止することが主となると思うが，すでに生活保護を受けている方への生活保護からの脱却に向けた取り組みを現在すでに行っていると思うが，具体的にどのようなことを実施しているのか。また，8ページの認知症初期集中支援チームはいつからの設置を考えているのか。以上3点について教えていただきたい。

**事務局**：横断的な連携の件について，ニーズ調査は3計画を改定するための基礎資料とするためのもので，地域福祉計画自体が地域という視点で各分野の計画を横断的につなげることを計画に位置付けている。そういった意味で今回，横断的という言葉を使わせていただいた。組織を変えるのではなく，計画間の連携を図るという趣旨である。

**生活福祉**：生活保護受給者について，7ページにも記載があるが，自立の可能性がある受給者を選定し，自立支援相談員3人と，担当のケースワーカー3人をつけ，庁内に常設したハローワークや

民間事業者と連携し、就労意欲喚起を行っている。受給者の中には書類を書けない人もいるのでワープロの使い方を教えたり、高齢者にあった求人を選んで面接を受けていただいたりして、就労支援を行っている。

**高齢福祉**：認知症初期集中支援チームの設置の時期としては、平成30年度の設置を目指している。今年度は情報収集と実態把握、平成29年度は具体的な検討という流れを考えている。具体的な検討方法に関しては、各地域包括支援センターに配置されている認知症地域支援推進員からの情報をまず集約し、認知症連携推進会議で情報を元に具体的な検討を進めていく。

**会 長**：27ページの待機児童対策で、保育所の設置の際に地域住民からの反対があるので早くから説明をして対応をしていきたいという話だったが、反対の理由はどういうことで、説明を早くから行えば理解していただけるものなのか。

**子ども政策**：反対の理由としては、狹隘道路や子どもの声などの音の問題、給食室からの臭いなど、さまざまなことが挙げられている。それに対し、これまでは事業所が申請をして東京都の児童福祉審議会を通った後に住民への説明をしていたのだが、まず地域に入るようお願いをしている。諸課題をクリアし、保育園を建てられる段階で市に話を持ってきてほしいとお願いをしている。

**会 長**：もともとそういった環境を作れるかどうかを検討していただいて、その後に保育園設置に向けた申請等をしていくということか。

**子ども政策**：現在、市を10地域に分けているが、東部の地域で保育所が不足しているという情報を得ている。その中で保育所を設置したいという声があれば、道路の幅などの諸課題をクリアできたら、というようにお願いしている。

**会 長**：今の対策は分からないことはないが、行政としてももう少し積極的な対応をしていかないと行けないのではないだろうか。

**子ども政策**：設置者が民間だったりした場合、土地所有者の資産活用の意向等もあり、市がどこまで積極的に入っていくか、現在検討している。保育園を建てるという部分については積極的に推進している。

**委 員**：例えば介護事業所のように、先に市で土地を決めて住民の説得をした上で、参加者を公募するような方法が、数を増やす上でいいのではないかと。

**子ども政策**：まず国有地などについては関東財務局に積極的に話をしている。民地については土地所有者等と連携を深めていく。

**委 員**：26ページの「子ども生活部の横断的連携による施策の推進」は平成28年度からの新規項目ということで検討をしていると思うが、「産前・産後サポート事業」と「産後ケア事業」の整備を進めるというのは、具体的にどういったことをするつもりなのか。

**子ども政策**：まだ検討の段階で、新しい制度に基づいて調布市でできることや部間連携について検討している。産前・産後サポート事業については、子ども家庭支援センターすこやかで実施している事業と連携しながら実施を検討している。

**委 員**：具体的な整備について決まっているわけではないということか。

**子ども政策**：まだこれからである。

**会 長**：生活保護世帯の自立支援を相談員3名とケースワーカー3名でやっているということだったが、取り組んだ結果はどうか。

**生活福祉**：就労活動を行った人数は、平成26年度は353人だったのが、平成27年度は396人で、43人増えた。これは間口を広げて、多少傷病がある方や、軽い精神疾患がある方でも医者から大丈夫だという判断をいただいた方についても就労活動を行ったため、数が増えた。しかし、就労に結びついた数は、平成26年度は153人で平成27年度は142人で11人減っている。対象者は増えたが就労に結びつくのは難しかったのではないかと感じている。

就労によって生活保護がなくなった世帯は、平成26年度は22世帯、平成27年度は16世帯と、数は減ったが昨年度は16世帯が自立できたという結果になっている。また、自立までは結びつかなかったが自立支援事業によって収入が増加した世帯は8世帯から13世帯に増えた。

**会 長**：就労に結びついた数が142人だが生活保護から脱出したのは16世帯ということは、就労が長続きしないということか。

**生活福祉**：何ヶ月か働いたがその後続かなかったという方もいる。

**会 長**：生活保護世帯を脱出できた世帯がいて、そうでない世帯がいるということは、途中でだめになってしまったということか。

**生活福祉**：そういうことになる。

**委 員**：4月から障害者差別解消法が制定されたということだが、合理的配慮について、ハード面やソフト面で範囲が広いので難しいと思う。私のように松葉杖をついているような人は、遠くから見てもすぐに障がい者と分かると思うが、聴覚障がい者のような内部障がい者は、遠くから見ても障がい者だとはわからないということもあり、言葉やその他の部分でなかなか配慮がされていないようだ。今日のメンバーを見ても当事者はほとんどいないので、職員等の関係者が対応していくことになると思うが、簡単にはいかないということは肝に銘じておいてもらいたい。私たちが住みやすいということは皆さんも住みやすいということになるので、よろしく願います。

**障害福祉**：まさしく当事者からの意見が一番重要だということは承知している。平成27年度も障害者差別解消法について市の職員の研修をして、当事者の方に実体験をもとにお話しをしていただいた。今年度もまた研修をするが、当事者の方でないとなかなか伝わらないと思い、ぜひ当事者の方にお話を伺いたいと思う。新人研修としては非常にまれだが、当事者の方に来てもらいお話をさせていただこうと考えていたが、時間の都合で実施できなかった。全体研修ではやりたいと考えている。合理的配慮の具体的事例を国が集めているが、地域や場所、人によって違うと思うので、事例を集めてもきりがないので、シチュエーションごとに分類して、よくある具体的事例ということで、より業務に近い形で職員に伝えていきたい。障がい者団体からも意見を聞く場を設けて、意見を吸い上げていきたい。

**委 員**：当事者の意見を聞くということも大事なのだが、自分の意見を正しく伝えられない人たちをどのように救うかが大事である。いわゆる差別解消法の協議会のようなものを早く強化してもらうことも必要ではないかと思う。

**障害福祉**：障害者差別解消支援地域協議会のことだと思うが、今現在設置できていないので、早急に設置を進めていきたい。調布市では平成27年度中に設置に向けた検討を進め、平成28年度中には設置したいと考えている。伊地山委員の言うように、自分の意見を言えない人たちの意

見をどのように取り入れていくかを検討していきたい。

(2) 地域福祉コーディネーター事業について

資料説明（福祉総務課）

資料説明（地域福祉コーディネーター）

**会 長**: もともと地域福祉計画の中で地域福祉コーディネーターを設置しようということになったので、この場でご報告いただいた。何か質問や意見はあるか。

（特になし）

(3) 調布市民福祉ニーズ調査について

ア アンケート調査の概要と調査項目（案）

イ 住民懇談会（案）

ウ 全体スケジュール（案）

資料説明（福祉総務課）

**会 長**: もっと分かりやすくイメージができるように、次回までに質問紙を作成するということが、次回に示されるのか、次回までに事前送付されるのか。

**福祉総務**: 事前送付したいと考えている。

**副会長**: 前回のニーズ調査の報告書を見たが、回収率が低いので、どのように回収率を高めるかという問題があると思う。前は1つが50%を切っている。

また、時系列での分析が大事で、横軸で見えていく必要がある。なかなか比較は難しいが、東京都も東京全域でこれに類する調査を毎年している。それと比べながら、東京全体の中での立ち位置や、23区内や山の手の自治体等で同様の調査をしているはずなので、そこと比較をすることで、調布の特徴が見えてくると思う。

3つ目として、実態と意識を聞こうとしていると思うが、そのバランスが大事になる。あまり回答者がいないような質問項目を入れてしまうのはもったいない。例えば「生活に困窮しているか」という質問では、実際に困窮している人は1割か2割しかいないのでその程度しか回答してこないが、「生活困窮についてどう思うか」という質問にすれば、全員から回答がある。どこにターゲットを絞って考えるかが大事である。できるだけ多くの方が回答できるように設計していくほうがよいと思うので、そのバランスをうまくとって設計してもらいたい。

**会 長**: 自治体が行う調査では、昔は6～7割ほどの回答があったが、今は保育に関する調査などでも、設問数が少し長いと5割を切るようなこともある。アンケートの回収率は、調布市に対する市民の信頼感にも通じるので大事だと思う。

また、調査設計についても、詳しく聞きたくても対象者は少ないということもあるかもしれないし、生活困窮などは高齢者などに思ったより広がっているかもしれないし、考えながら作っていく必要がある。

**委 員**: 福祉ニーズ調査について、必須回答にはできないとおもうが、アンケートに答えられない理由から見えてくるものがあるかもしれないので、それが分かる質問を考えてみるのもよいと感じた。また、住民懇談会に関して、昨年参加したときは参加者が少なく、既存の地区協議会や地域の団体に「こういう会がある」と声かけをして下準備しないと、いきなりではどういう会なのか分からないので、考えていただきたい。

**福祉総務**：コンサルからも、参加者については自治会などに周知して、事前に申し込みをしていた  
だく形で実施するという提案があり、そのようにしたいと考えている。周知の際にも手紙を出  
して、直接参加を呼びかけ、参加していただけるよう努める。

**会 長**：行政では回答を強制するということはできない。自分の関心のあることであれば協力しよ  
うということもあるが、教育や保育のことでも回収率が下がってきているので、皆さん忙しく  
なってきたのかもしれない。どのようにしたら回収率が上がるか、皆さんにも考えてきて  
いただければと思う。手紙を添えるということも考えられる。

**副会長**：前回調査では、18歳から64歳の市民調査が41.8%ということで、半分以上返って  
きていない。また、多くのところで同様だが、身体障がい68.6%、知的障がい62.  
4%、精神障がい55.3%ということで、身体と知的は3分の2くらいは返ってくるが、  
精神障がいの方からは半分くらいは返ってこない。また、予算の関係で難しいとは思いますが、例  
えば精神障がいの方には個別でヒアリングをするなど、補わなくてはいけないのではないかと  
思う。サンプルを抽出した上で半分しか返ってきていないものを、「こういうニーズがある」とするの  
は厳しいと思う。できる範囲で個別ケースについてヒアリングをしたりして、もう少しリアリ  
ティが出るよう、補強する手段を考える必要がある。

また、周知の手段としては、SNSをはじめ、インターネットを見る人が増えてきているので、  
早めに、「あなたの将来に役に立ちますよ」というような内容を流し、回収率を上げるというこ  
とも考えられると思う。

**会 長**：前回の調査で印象に残った回答では、「何歳から高齢者だと思うか」という質問で、80歳  
からが高齢者だという答えが多く、90歳までは元気でいたいという結果だった。ものすごく  
大きな変化があったと感じた。80歳前くらいまでは高齢者だと思っていないと考えると、高  
齢社会は高齢者が作っていくというテーゼを打ち出しても間違っていないのではないかと思っ  
た。調査をすることで、なんでもないように見える項目から新たな発見があるかもしれないの  
で、次回までに、こういうことも聞いたらいいのではないかとというような項目があれば、考え  
てきていただきたい。

#### (4) その他

**事務局**：第2回は7月29日の18時30分から、第3回は8月25日に、同じ会場（文化会館たづ  
くり2階予防接種室）で行う。

### 3 閉会